

## 令和6年度 第2回浜田市地域公共交通活性化協議会議事録（要旨）

日時：令和6年7月12日（金）13：30～15：00

場所：浜田市役所5階全員協議会室

資料：・会議次第

- ・令和6年度地域公共交通活性化協議会委員名簿【資料1】
- ・浜田市地域公共交通活性化協議会規約、事務局規程【資料2-1、2-2】
- ・地域公共交通計画認定申請書【資料3】
- ・令和5年度浜田市地域公共交通活性化協議会事業報告、決算書、会計監査報告書  
【資料4-1、4-2、4-3】
- ・令和6年度浜田市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）、予算（案）  
【資料5-1、5-2】

### 1 会長あいさつ

### 2 報告事項

- (1) 補欠委員及び役員について
- (2) 規約及び事務局規定について
- (3) 第1回協議会（書面審議）の結果について

<質疑応答>

質疑等なし

### 3 議題

- (1) 令和5年度事業報告及び決算・監査報告について

<質疑応答>

#### ○委員

資料4-1、2(1) タクシーを利用した新たな交通手段の実績について、確かに年々実施団体数が増えてはいますが、令和4、5年度を比較すると、ちょっと伸びが緩やかな印象を持ちました。まちづくり推進委員会、現在30数団体ぐらいあると思いますが、あまり実施数が伸びない理由や原因を分析されていることがあれば教えてください。

#### ○事務局

あいのりタクシー等運行支援事業につきましては、事業の実施主体をまちづくり推進委員会としており、実施主体が計画を立てて運行したタクシーの経費に対しての補助事業になっています。

令和3、4、5年とそれぞれの実施団体につきましては、すべて浜田地域以外の金城、旭、弥栄、三隅の各地域の団体が実施をされています。

実態としましては、浜田地域以外の金城、旭、弥栄、三隅地域につきましては、各まちづくりセンターがまちづくり推進委員会の事務を担っているというところもあろうかと思えます。

1まちづくり推進委員会に対して1まちづくりセンターという位置付けというのが、事業の進めやすい環境になっているのではないかと考えています。

ただ、令和5年度につきましては、相談ベースではあるものの浜田地域においても、あいのタクシーを活用して地域の交通を何とかしたいという申し出も何件かございました。

後程、今年度の事業計画の方でも申し上げますが、現在実施をしていない団体につきましては、今後、まちづくり社会教育課が中に入っていくって、検討のお手伝いをさせていただきたいと思っています。

#### ○会長

地区まちづくり推進委員会がまだできてないところもありますので、地域からは、地区まちづくり委推進委員会がない住民も使えるようにして欲しいといった意見もあります。現在はこういうルールで実施させてもらっています。

金額を見ていただきますと令和4、5年度と、件数の増加に合わせて対象経費、補助金額も増えているところです。

#### ○事務局長

1点補足です。地区まちづくり推進委員会の事務も多忙であり、まちづくりセンターからいろいろなご意見がございました。これを受けて、今年度から、数ヶ所、希望のあったところには、地区サポーターという、まちづくり推進委員会の事務を行う方を新たに配置しています。

そういった方が中心になって、またこのあいのりタクシーなどの事業を、実施していこうかと思っておりますので、こちらにも力を入れていきたいと思っております。

#### ○委員

私は参加が初めてですので、皆さんご承知かもしれませんが、教えていただきたいと思っております。

資料4-1、1(2)に、公共交通事情の把握のために、利用者部会を開催というふうに書いてありますが、この利用者部会というのはどのような組織なのか、教えていただきたいと思っております。

#### ○事務局

昨年2回実施した利用者部会について、実際にお使いになられている団体の方々を多く集めて実施することが難しいところがあり、この協議会の中で、住民組織の代表である地域協議会の方から選出された皆様をメインの部会員とし、あわせて社会福祉協議会、女性ネットワークといった、公共交通の利用を主にされる、または利用者に関わる団体の皆様を部会員として開催をいたしました。

#### ○委員

この協議会のメンバーの中で、直接利用をされる可能性のある方をピックアップして、部会を作ったということによろしいですか。

○事務局

はい。その通りです。

○委員

資料4-1、3(2)について、いろいろ活動され、個別相談とかもされたようですが、その成果と、こういう事業は今後もされる予定なのかお聞きしたい。

○事務局

個別相談につきましては、資料の(2)の方にありますように島根移住フェアに、交通業種としてブースを設けまして、島根県、事業者の方、本市の担当が出席をいたしました。

その中で、各市町村が設ける移住相談コーナーとは別に交通ブースを設けて、個別相談を行ったところです。

バスの今の乗務員の状況ですとか、就職するとういうったことがありますといったお話もさせていただいて、興味があると言っていただいた方が、10名まではいかないまでも、多くの方々に興味を持っていただきました。そこから雇用に繋がったか、というところまでは確認はできていませんが、より具体的に事業者の方から直接、業種の内容についてお話いただいたところです。

また後程、今年度の事業計画でも申し上げますが、今年度も移住フェアに参加をさせていただくなど、乗務員確保の取り組みについて広く行っていきたいと思っています。

資料説明で漏らしておりましたが、島根県が中心となりまして乗務員確保の取り組みを県内各市町村の担当課が構成となり、プロジェクトチームを立ち上げており、昨年度から、乗務員確保、また利用活用促進についての協議を進めているところでございます。今年度も、このプロジェクトチームに基づいて、協議、事業を行っていくところにしております。

○会長

それでは他に質問等無いようでしたら、ただいまの議題(1)令和5年度事業報告及び決算監査報告について、承認をいただける方については、拍手お願いいたします。

【 拍手多数 承認 】

(2) 令和6年度事業計画及び予算について

<質疑応答>

○委員

資料5-1、2(1)で、2行目以降、バスの乗り方教室を開催し、バスに不慣れな方にも、バスに親しんでもらう取り組みを行う、とございます。

昨年度の取り組みを見てみますと、乗る機会を作っていくんだ、というところでされたと思いますが、どのような背景があつて一歩踏み込んだ、新たな取り組みといたしますか、そういったところに進んでいかれるのか、教えていただけますでしょうか。

## ○事務局

バスの乗り方教室につきましては、まだ、具体的にいつごろといった内容というものはございませんが、過去ある地域の方では、高齢者サロンが、実際にバスに乗って、浜田市内の方に出て買い物をして、バスで帰るといようなことを、まちづくりセンターや社会福祉協議会の方で企画をされて、実施をされたとことがございます。

目の前でバスは走っていないながらも、乗って、まずどうしたらいいのかわからないという方も当然いらっしゃると思いますので、イベントで展示されているバスに親しんでいただくのはもちろんですが、実際の公共交通を利用して体感していただくといようなことも、大事なところだと思っております記載をしたところでございます。

## ○委員

先ほどの委員からのご質問にも関連して、感想というか、私の実体験ですが、知らないところへ行って、バスに乗るのは怖い部分があり、前から乗っていいのか、真ん中から乗っていいのか後ろから乗っていいのか、券は取らないといけないのかといったところで、怖いと思うのでバスに乗ったことのない方が迷わないためにも、そういう機会を作ってあげるっていうのは、どの程度有効か分からないですが、機会があってもいいんじゃないかなと思います。

感想をまず先に述べさせてもらった上で、ここからが質問です。

資料5-1、2の公共交通利用促進の取組みは、これまでもやられていて、今後も引き続きやるべきだとは思いますが、自家用車がすごく便利に利用できるこの浜田市において、どれぐらい公共交通を利用してもらえるようにシフトしていけるかという、なかなかハードルが高い。

私も知識は持っているつもりですが、普段から公共交通積極的に利用しているかと言われると、なかなか堂々とは言えないところがありますので、これは引き続きやるべきだとは思っています。

ただ、もうすでに自家用車の利便性みたいなものを知ってしまった人には、アプローチしづらいかないと考えると、まだ車に乗らない世代の小中学生、あるいは保育園とか幼稚園とか、といったところにも、アプローチしてもいいのかなと思いました。

例えば、浜田市では、防災に関する出前授業を実施されていると思いますが、小中高生向けとか、そこに大学生も含めてもいいと思いますが、そういったところに向けて、環境交通教育のような、出前講座をやる余地があるのかなのかということ、それから今、探究学習のようなことを、小中学校高校でされているようなんですが、そういうところで、浜田市の地域が抱える問題として、学生さん、生徒さん自身にいろいろ調べてもらう中の1つとして、こういう公共交通の問題を、市の問題として提供して、生徒さん自身で、今後の公共交通のあり方みたいなものを考えていくようなきっかけづくり、そういったことも可能性としてはあるのかなと思いますが、何か検討の余地がありそうかどうか教えてください。

## ○事務局

先ほどのお話で、小中学生ですとか保育園ですとか、そういった、まだまだ免許を持ってないような方々に対して、実際交通に親しんで、より身近な生活にあるものなんだ、という認識を深めていただくというのは、非常に効果があるように思っています。

実際のバス路線なのか、チャーターするのかといったことも含めて、どういったやり方ができるのか、エリアはどうするか、そういった課題もあろうかと思っておりますので、どういったところをターゲットにして、より効果的にできるかも踏まえて、検討はしていきたいと思っております。

また交通の出前講座につきましても、ケーブルテレビや市の広報といったもので、利用しましょうといった発信がメインとなっていますので、それに対する反応といいますか、お声も聞いていきたいと思っておりますので、出前講座につきましても、要請があれば出向いて参りたいと思っております。

また、学校の探究学習、今各小中学校で地域にもっと入っていくような、地域の魅力を探していくというような授業をされていると聞いています。

その中の1メニューとして、この交通というのを捉えていただける機会がもしあれば、それは非常に良いと思っておりますので、教育委員会を通じて、そういった情報をこちらの方から投げかけていきたいと思っております。

#### ○会長

いい提案をありがとうございます。出前講座は声がかかったらではなく、こちらから働き掛けをしていただきたい。

授業でできるのか、例えば、社会教育、それこそまちづくり社会教育でまちづくりセンターとなって一緒にやるとかといった方法がある。授業の中で入れると、学校のカリキュラムがいっぱいになっているということがあるので、そこにはしっかり教育委員会と連携をして、せっかく良いご提案いただいた。また、情報発信を不特定多数に出すのも良いが、ターゲットを絞って、それによる情報発信に今おっしゃったお子さんたち、免許がない人、親と一緒に乗ってくれるかもしれない。ぜひ検討してください。

#### ○委員

意見に大賛成です。

都会の方では、電車の運転手さん、車掌さんになりたいというふうな子どもさんもたくさんいらっしゃる。そういうところは乗る機会見る機会があって憧れることも多々あると思います。

やはり公共交通機関に慣れていないこの辺の子どもたちは車を使っての移動が多く、バスもあまり乗ったことがない、汽車に乗ったことがといった子どもたちにぜひそういうことを体験してもらって、バスの運転手になりたいと願うような子供がたくさんいるような浜田市になってもらったらすごくいいかなというふうに思っています。

私の職場が三隅の保育所ですが、やはり前の道路をバスが通ると、子どもがすごく興味を持っています。

それに乗車してみる経験というのが、大変いい経験になるのではないかと思いますので、ぜひ今の計画を進めていただきたいな、というふうに思います。

#### ○委員

お子さんに対してっていうところから関連して私事ですけれども、娘が大学生になってこの地

域を離れたときに、あまりバスとか電車とか乗る機会がなかったので、行ってからどうやって乗るの、ICってどうやって使うのっていう、どうやってチャージするのみたいなところから、困っていました。

今（浜田市で）、バスでは多分使えるんじゃないかと思うんですけど、電車では使えない。そういうところをもっと連携してくると、子どもたち、高校生が使いやすくなってきたり、また将来、県外等へ出たときに向けて、社会について学ぶというかそういった視点からもいいのかなというのと思いました。

それから、社会福祉協議会は民生委員の事務局をしております。

その中で、定例会などをしますと地域の方のお話の中では、買い物難民になっているっていうような方がいらっしゃったり、高齢の方もバスが不便だから、80歳を超えても、免許が手放せない、車に乗らなきゃいけないという状況にあることがどうしてもあるので、免許をできれば早めに返納してもらおうという警察の方とかの連携というの、大事な話になるのかなと思いました。

民生委員さんの方も多分、交通関係のことを地域の方からたくさん聞いてらっしゃると思いますので、民生委員さんの話を聞いていただくような機会があると、いいお話に繋がるんじゃないかなと思います。

#### ○事務局

先ほどから話が出ております、公共交通機関に乗ったことがない方に対してのアプローチについて、幅広くできればと思っておりますし、また小学校、保育園とか、段階を踏んでというところもありますので、そういった情報が入るような環境になればと思っておりますので、こちらから発信したり体験会を開催したりといったことを検討して参りたいと思っております。

また先ほどの民生委員さんからの意見聴取、ヒアリングというの、非常に良い取組だと感じるところです。

おそらく各地域民生委員の協議会、民協といったところで、利用者の方々の意見を伺えるものであれば、出向いて参りたいと思っております。

#### ○委員

協議会から、公共交通の利便性という観点で、JRさんに要望とかあげられるのでしょうか。

出雲米子間はICが使える2025年には鳥取まで伸びるようです。東部にはどんどん伸びて行って、利便性活用性上がっているんですが、出雲以西が置いていかれてるってことは非常に感じておまして、浜田駅で切符を買う際にも時間がかかり、特に特急のときには行列ができる。焦ることが多くて、予約もシステムがあるんですが、IC決済があれば、並ずにすっと入れますから、是非とも西にですね、光を当ててきたいっていう、要望を挙げさせてください。

#### ○事務局

JRに対しての要望について、当協議会の中にも構成として、JRさんいらっしゃいますので、各バスですとか、市の事業ですとか、JRさんですとかそういったそれぞれのセクションにつきましても、この協議会の中で情報共有しながら意見交換をしていきたいと考えています。

J R西日本に対しての正式な要望については、島根県が事務局をされている島根県鉄道連絡調整協議会という協議会があり商工会議所も会員になっておられます。

そこから、年に1回、市内の学校ですとか、市各課から、J Rに対する要望を取りまとめまして、浜田市として、要望を出しているところがございます。

当然商工会議所さんの方からも要望書のほうは提出いただいていると伺っております。

この要望書という形もそうですが、先ほどの県が実施するプロジェクトチームですとか、そういったところで、J Rに対しての要望はお伝えをしておき要望の機会については、そういったところがございます。

#### ○委員

例えばこの協議会から、浜田市の陳情要望の方に上げていただきことは可能ですか。

#### ○会長

この協議会でそういう意見が出たということを受けて、市として要望する、例えば商工会議所さんと連名でやるとか、それはできると思います。

この協議会名で要望というのは難しいと思いますが、協議会で議論した中で、そういうのをぜひやって欲しいということが出れば、浜田市と商工会議所さんだけなのか、どういうメンバーでやるのか別にして、それができると思います。

#### ○委員

今私の意見にうなずいた方何人かいらっしゃいますので、ぜひ市の意見としてあげてください。よろしくをお願いします。

#### ○委員

その意見については、この地で働く我々もそのように思っております、当然お金のやりとりをすることで列車が遅れるということもございますので、運転する側としたら、そういうものがあれば、非常にスムーズに行くという意見は当然出ております。

浜田駅長につきましては、山陰支社の兼務でもありますので、こういう意見が今回出たということは、帰ってから報告をさせていただきたいと思っております。

私の方から、それはすぐ入れますという回答はできませんので大変申し訳ありませんが、そういう声があるということも聞いておりますので、改めて駅長の方にはお伝えしたいと思っております。

#### ○委員

今、浜田市はあいのりタクシーを、予算を組んでやっておられますが、1まちづくり推進委員会の地域の中で2人を乗せなければならないという点が大変使いにくい。

1まちづくり委員会というのはあまりにも規模が小さく使いにくいので検討していただきたいのでよろしくをお願いします。

#### ○事務局

あいのりタクシー等運行支援事業が使いにくいというようなご意見につきまして、今後、各まちづくり委員会でどういったところが使いにくいのかより掘り下げて伺っていきたいと思います。

地域の困りごと、交通に限らず、生活、防災、そういった問題を解決するためのまちづくり総合交付金を市が出している単位がひとくくりの地域になっています。その中で、交通に困っている方に対しての支援をどう考えていただくかというところが、本事業の1つの主点です。

まちづくり推進委員会の枠を超えての補助金の申請は、現行制度上はできないところではありますが、ご意見を聞きながら、どういったところが使いにくいのか、可能であればそのポイントは解消したいとは思っておりますが、我々がその事業を進めていく、その趣旨については、地域の皆さんには、理解をしていただきながら進めたいなというふうには思っております。

#### ○会長

いろんな声をいただいております。1人で使えるようにしてほしいといったものもありますが、これはなかなか私どもとしては難しい。

例えば雲城と今福の人が一緒に行くとかいうのは、これは検討ができると思いますので、ぜひ利用しやすい制度にしたいという思いを持っています。

それでは他に質問等無いようでしたら、ただいまの議題(2)令和6年度の事業計画及び予算について、承認をいただける方については、拍手お願いいたします。

【 拍手多数 承認 】

#### 4 その他

なし

以上